

@金繕い編

割れてしまって、なかなか処分できずに食器棚で眠ってしまっている食器はないですか？

また、ちょっとしたアレンジで、100均のシンプルな食器も素敵な食器に生まれ変わりますよ。



用意
するもの



- ①エポキシパテ (60分硬化型) ②新うるし (本透明)
- ③真鍮粉 ④新うるし専用 薄め液
- ⑤紙やすり (400番以上の目の細かいもの) ⑥筆 (大・小)
- ⑦カッターナイフ ⑧小皿 (3~4枚)

金繕い

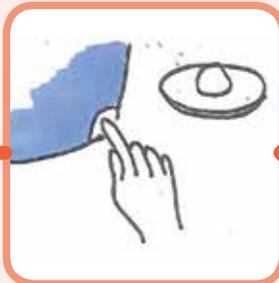
今回は、真鍮粉を使った金繕いを紹介します。もともとのお茶碗のデザインによつては、純銀粉を使つても。※今回は紹介するのは、普段使っている食器の金繕いです。



直し方



④ 60分以上乾燥させて、完全に乾いたらカッターで、でこぼこを削り、紙やすりで丁寧に磨きます。



③ 欠け部分にエポキシパテをつけて表面を撫で付け、できるだけなめらかになるように整えます。



② エポキシパテのA.Bを同量切り出し、よくこねて混ぜ合わせます。



① 欠け部分の汚れを、薄め液で拭き取ります。

Labo's テク

One rank UP!

ひび割れの際は



あまった真鍮粉でアレンジ。100均の白いお皿もかわいくなりました。



ひびの入ったお茶碗は⑤をこんな感じで。



⑥ 大きい方の筆で補修部分に1筆で色を乗せます。何度もすると、デコボコになりますよ。



⑤ 新うるしと真鍮粉を1:1で取り、薄め液に浸した筆で混ぜ合わせます。(※固さの目安は常温の蜂蜜よりちょっと固いくらい。)